

オコト交配

# アグネス AGNES

- 着果良好で栽培容易
- 極早生で肉質がしまり美味
- 果重2kgで良く揃い、外皮濃緑



# アグネス西瓜

AGNES

栽培の要点

シャリッと甘さが冴える、赤肉こだま

## 特 性

- 草勢は中程度、極めて着果が安定する。果重は2kg内外、正球形の縞皮で縞は中太、地色は濃緑です。
- 果肉色は濃桃紅で糖度は高く、13度内外で肉質は良くしまり、食味は極めて良好です。
- 果皮はうすく、3mm内外で、可食率が高い。
- 肥料は大玉系の30～50%少なくすると良い。
- 輸送性、店持ちがよく好品質を保つことができる。

## 作型と栽培のポイント

### ◎3～4月収穫の促成

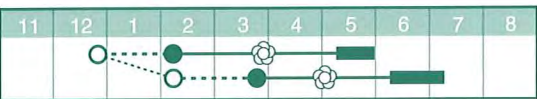
(暖地・中間地のハウス加温、無加温)



- 定植は収穫予定の90日以前に行なう。
- 大苗を定植し株間を広くする。
- 地温は18～20℃前後になるようにツル間と整枝方法を実施する。
- 換気は少なくし保温につとめ、ハウス・トンネル内の過湿はさける。

### ◎5～6月収穫の早熟

(ハウス、大型トンネル)



- 播種～収穫まで135日内外となる大苗を定植すると良い。
- 3～4月の日照量の少ない時期の整枝はやや早めにする。
- 着果15日前後より昼夜間の換気を行い、昼間は35～40℃で最低温度は10℃内外の温度管理をするとより品質が良くなる。

### ◎7～8月の収穫

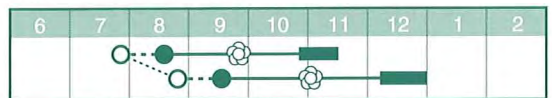
(冷涼地、高涼地のトンネル)



- 栽培期間は最も短く、定植～収穫まで90～100日内外です。
- 3～4月収穫後の二期作栽培の場合は、4～5月定植で6～7月収穫となる。
- 7～8月収穫は定植後40～50日内外より着果させる。
- 高温・梅雨時の日照量が少ない時期の着果であるから、ツル間を広くする。

### ◎10～12月収穫の抑制

(中間地帯のハウス栽培)



- 抑制栽培で年内収穫とする。
- 8～9月定植は若苗を定植し、初期の生育を良好にする。
- 受粉時期よりトンネルを被覆し昼間の温度を35～40℃を保つようにする。
- 後半は夜間10℃内外に換気、または保温につとめ品質を良くする。